

能登半島地震における 応急給水、応急復旧 活動について

秦野市上下水道局





1 応急給水

3

○派遣期間及び派遣先

- ・ 1 次隊 令和 6 年 1 月 1 6 日～1 月 2 1 日 石川県志賀町、輪島市
上下水道局職員 4 名
- ・ 2 次隊 令和 6 年 2 月 1 日～2 月 6 日 石川県志賀町
上下水道局職員 4 名
- ・ 3 次隊 令和 6 年 2 月 1 7 日～2 月 2 2 日 石川県輪島市
上下水道局職員 4 名
- ・ 4 次隊 令和 6 年 3 月 4 日～3 月 9 日 石川県輪島市
上下水道局職員 4 名

1 応急給水

4

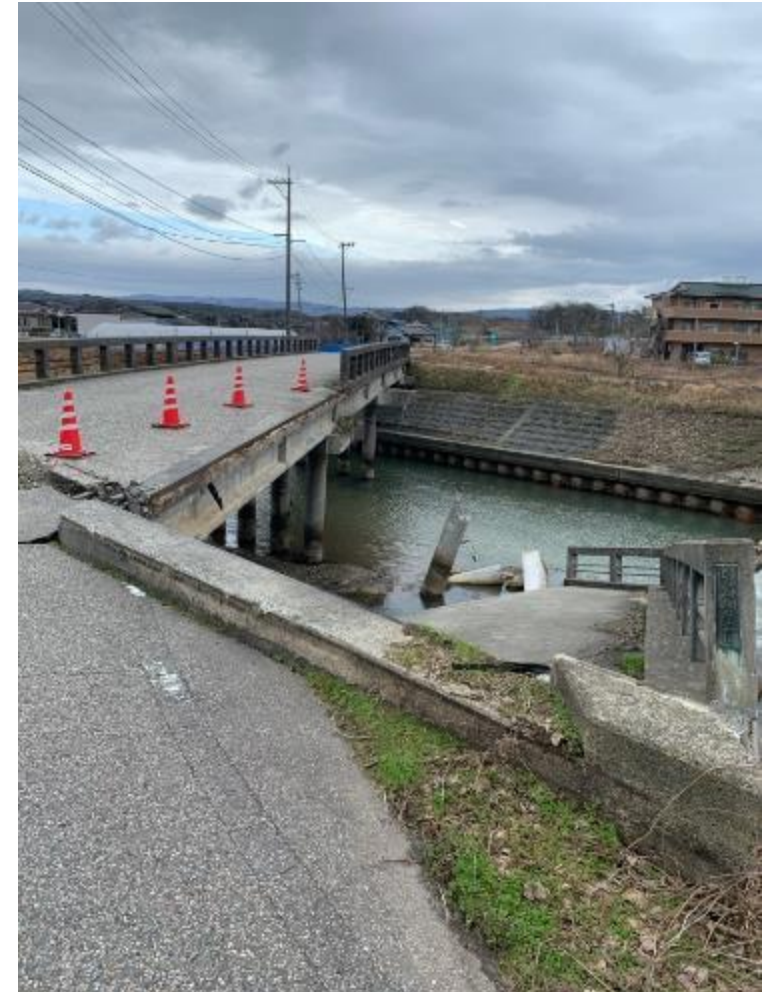
1次隊及び2次隊は、避難所の給水タンクなどへの給水を行うとともに、他事業者と連携し、被災者への直接給水を行いました。



1 応急給水

5

1次隊の活動は発災から16日後の1月17日からであったため、主要道路の仮復旧はされていたものの、多くは未着手であり、通行止めが多く、大きく迂回せざるを得ず、現場到着に時間を要しました。



1 応急給水

3次隊及び4次隊は、応急復旧活動に向けて、配水場に貯水を行う活動を行いました。



2 応急復旧

7

○派遣期間及び派遣先

- ・ 1 次隊 令和 6 年 3 月 1 5 日～3 月 2 1 日 石川県輪島市
上下水道局職員 3 名
秦野市管工事業協同組合 5 名
- ・ 2 次隊 令和 6 年 3 月 2 0 日～3 月 2 6 日 石川県輪島市
上下水道局職員 3 名
秦野市管工事業協同組合 9 名

2 応急復旧

8

本部にて作業報告、翌日の作業打合せを日々行いました。



2 応急復旧

配水管の水張り作業の準備（各戸の止水栓の位置確認、閉止作業）
給水管側での漏水を防ぎ、配水管通水エリアの拡大を図ることを優先し、
作業を進めました。



2 応急復旧

10

配水管の通水が出来ているエリアから続けて徐々に通水エリアを広げていく作業ですが、水張りを行った時点で、漏水が確認出来れば漏水箇所を特定し、修理を行います。



2 応急復旧

11

狭い道路上に多くの亀裂があり、近接して複数の漏水が発見された場所もありました。



2 応急復旧

旧門前地区に隣接した山間部に水道管が布設されている箇所があり、交通影響なども考慮したうえで、復旧方法も臨機応変に対応しました。



山間部の集落へは、仮設配管で配水も行いました。



修理状況の報告

- ・ 通水延長 1, 7 8 2 m
- ・ 配水管修理箇所 1 0 箇所
- ・ 給水管修理箇所 8 箇所
- ・ 断水解消軒数 8 4 軒
- ・ 使用可能軒数 2 2 軒

(メーターより建物側の漏水がない軒数)

- ・ 仮設配管延長 1 1 9 m

○応援事業体(職員)が安全かつ効率的に活動するための準備

- ・運搬経路や各施設での作業手順など、活動内容の資料整理
- ・多くの応援給水車に給水するため、給水拠点の整備や給水用仮設ポンプの準備などが必要

○給水車が運転できる人材の確保

- ・若手職員の運転免許では、給水車が運転できない
→今後、さらに人員確保が困難になるため、対策が必要

○応援事業体(職員)が活動するための資料整理

- ・配管図、マッピング情報といった資料をはじめ、資材置場の配置や、搬入搬出経路のわかる見取り図の作成が必要

○基本情報の整理

- ・仕切弁、止水栓の開閉方向、開閉器の形などの基本情報を整理し、容易に確認できるようにしておく

○目的地情報の整理

- ・土地勘のない応援事業体職員に目的情報を正確に伝えるためのQR位置情報を利用できる環境整備やランドマークを分かり易く表示した全体図の作成。